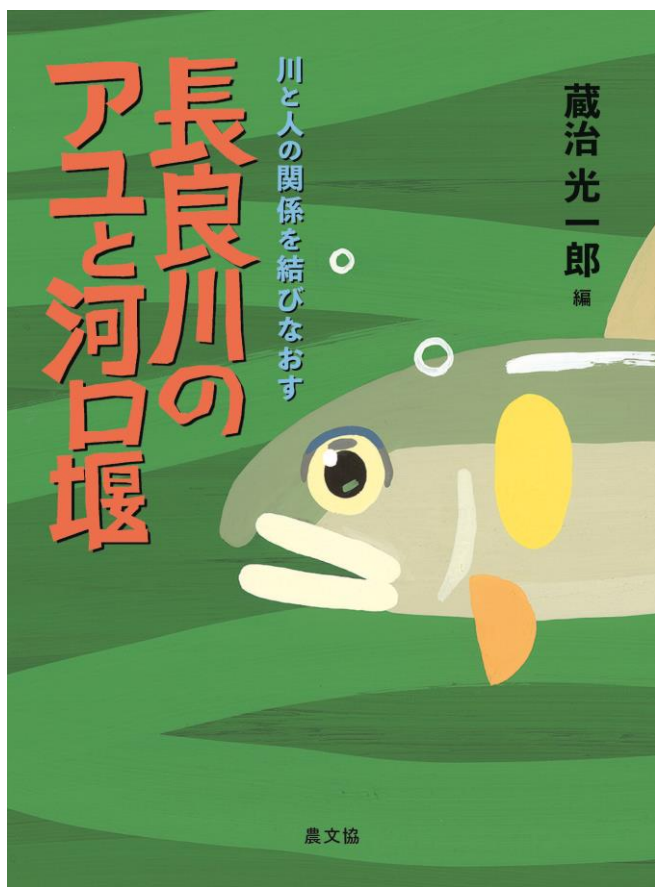


長良川のアユと河口堰

川と人の関係を結びなおす

蔵治光一郎編 A5 変型判 並製 232 頁(カラー口絵 8 頁) 定価 2420 円(本体 2200 円)



【帯文（推薦文）】

かつて、川には、人々の生活が息づいていた。夏の水辺は、水遊びの子供達でいっぱいだった。私達は、この国の自然に生かされ、文化を育み、時を繋いで来たのではなかったか。

山口 保（木彫工房メリーゴーランド）

いつのまにか川は、ただの水路となり、山は無価値なものとして、打ち捨てられてしまった。いずれ「バチ（罰）が当たる」と、祖母の言葉を思い出した。

山口一郎（サカナクション）

日本三大清流に数えられる長良川は、本州の大河で唯一本流にダムと堰のない川と言われ、山・川・海の連続した生物圏の上に豊かな水文化が育まれてきた。

アユをはじめ海と川を回遊する生き物、汽水域で生活する生き物は長良川の大切な恵みであり、川の生物圏の連続性、持続可能性の指標だが、河口堰はその営みを分断した。2015 年、長良川の天然アユは岐阜市で準絶滅危惧種に指定（後に削除）、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定された。

本書は、生物多様性の喪失が地球の限界を超えている時代に、川の生物圏を再生し、社会や経済の基盤として復権させ、川と人の関係を結びなおす可能性を探る。

〈本書の構成〉

はじめに——世界農業遺産、日本三大清流のアユは語る……………蔵治光一郎

I 長良川の恵みと なりわい今昔 ……………岩佐昌秋／中山文夫／大橋亮一／平工顕太郎

II 長良川のアユと生態系に起きていること……………高橋勇夫／古屋康則／向井貴彦／原田守啓

III ふたたび、いのち幸ふ川へ——河口堰という試金石……………蔵治光一郎／小島敏郎／今本博健／藤井智康／鈴木輝明／富樫幸一／伊藤達也

IV 河口堰の最適運用に向けて……………武藤 仁／青山己織／伊藤達也

おわりに——近くて遠い川と人の関係を結びなおすために……………蔵治光一郎

【付録】それが「長良」やがね……………大橋亮一／尾瀬妃那実

カバー・表紙画 村上康成

口絵

はじめに——世界農業遺産、日本三大清流のアユは語る……………蔵治光一郎

SDGs とアユと河口堰 (相関図)

木曾三川 (木曾川、長良川、揖斐川) 流域図

I 長良川の恵みとなりわい今昔

長良川の鵜飼の奥深い世界 岩佐昌秋

最後の1艘で守る夜川網漁 中山文夫

80歳現役漁師が見た「ばばちい川」……………大橋亮一

憧れの川漁師、知られざる川の世界……………平工顕太郎

【付記】その後の長良川……………平工顕太郎

II 長良川のアユと生態系に起きていること

なぜ天然アユが準絶滅危惧種に?……………高橋勇夫

長良川のアユと河口堰……………古屋康則

【コラム】長良川のアユを支える揖斐川のアユに異変……………古屋康則

河口堰による生態系の変化……………向井貴彦

【コラム】過剰な放流は魚類を減らし、自然を失わせる……………向井貴彦

温暖化が長良川にもたらしたもの……………原田守啓

III ふたたび、いのち幸ふ川へ——河口堰という試金石

長良川に「健全な水循環」を取り戻す……………蔵治光一郎

なぜ今、河口堰の「最適運用」なのか……………小島敏郎

気候変動と大地震に備える……………今本博健

長良川治水の「これまで」と「これから」……………今本博健

河口堰開門で塩水はどこまで遡上するか……………藤井智康

伊勢湾の漁業・環境と河口堰……………鈴木輝明

社会経済構造の変化に対応した水の使い方……………富樫幸一

異常渇水にも対応できる新しい水利用秩序へ……………伊藤達也

IV 河口堰の最適運用に向けて

世界の河口堰の先進事例に学ぶ……………武藤 仁・青山己織

【コラム】福原輪中の塩害を防ぐ「アオ取水」……………伊藤達也

おわりに——近くて遠い川と人の関係を結びなおすために……………蔵治光一郎

源流遊行絵図

【付録】それが「長良」やがね……………大橋亮一・尾瀬妃那実

主な参考文献

年表——世界の環境問題と長良川

執筆者一覧

編者

蔵治光一郎 (くらじ・こういちろう)

1965年東京都生まれ。1996年東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻博士課程修了。博士(農学)。東京大学大学院農学生命科学研究科教授。専門は森林水文学。矢作川森の研究者グループ共同代表、愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会委員、水循環基本法フォローアップ委員会座長などを務める。

執筆者一覧 (執筆順、所属は執筆時)

蔵治光一郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

岩佐昌秋 (小瀬鵜飼・宮内庁式部職鵜匠)

中山文夫 (長良川中央漁業協同組合副組合長)

大橋亮一 (長良川漁師、故人)

平工顕太郎 (長良川漁師、結の舟代表、長良川漁業協同組合総代)

高橋勇夫 (たかはし河川生物調査事務所代表)

古屋康則 (岐阜大学教育学部教授)

向井貴彦 (岐阜大学地域科学部教授)

原田守啓 (岐阜大学流域圏科学研究センター准教授・地域環境変動適応研究センター一長)

小島敏郎 (元青山学院大学国際政治経済学部教授)

今本博健 (京都大学名誉教授)

藤井智康 (奈良教育大学理科教育講座教授)

鈴木輝明 (名城大学大学院総合学術研究科特任教授)

富樫幸一 (岐阜大学名誉教授)

伊藤達也 (法政大学文学部教授)

武藤 仁 (長良川市民学習会事務局長)

青山己織 (通訳)

尾瀬妃那実 (岡山南高等学校1年生、当時)

注文書 **長良川のアユと河口堰 川と人の関係を結びなおす**



冊 送料1回400円

蔵治光一郎 A5変型判 並製 232頁 定価2420円(本体2200円)

ISBN 9784540231278

お名前(団体の場合、団体名)	ご住所(〒 -)
(ご担当者様)	
TEL - - FAX - - E-mail	